

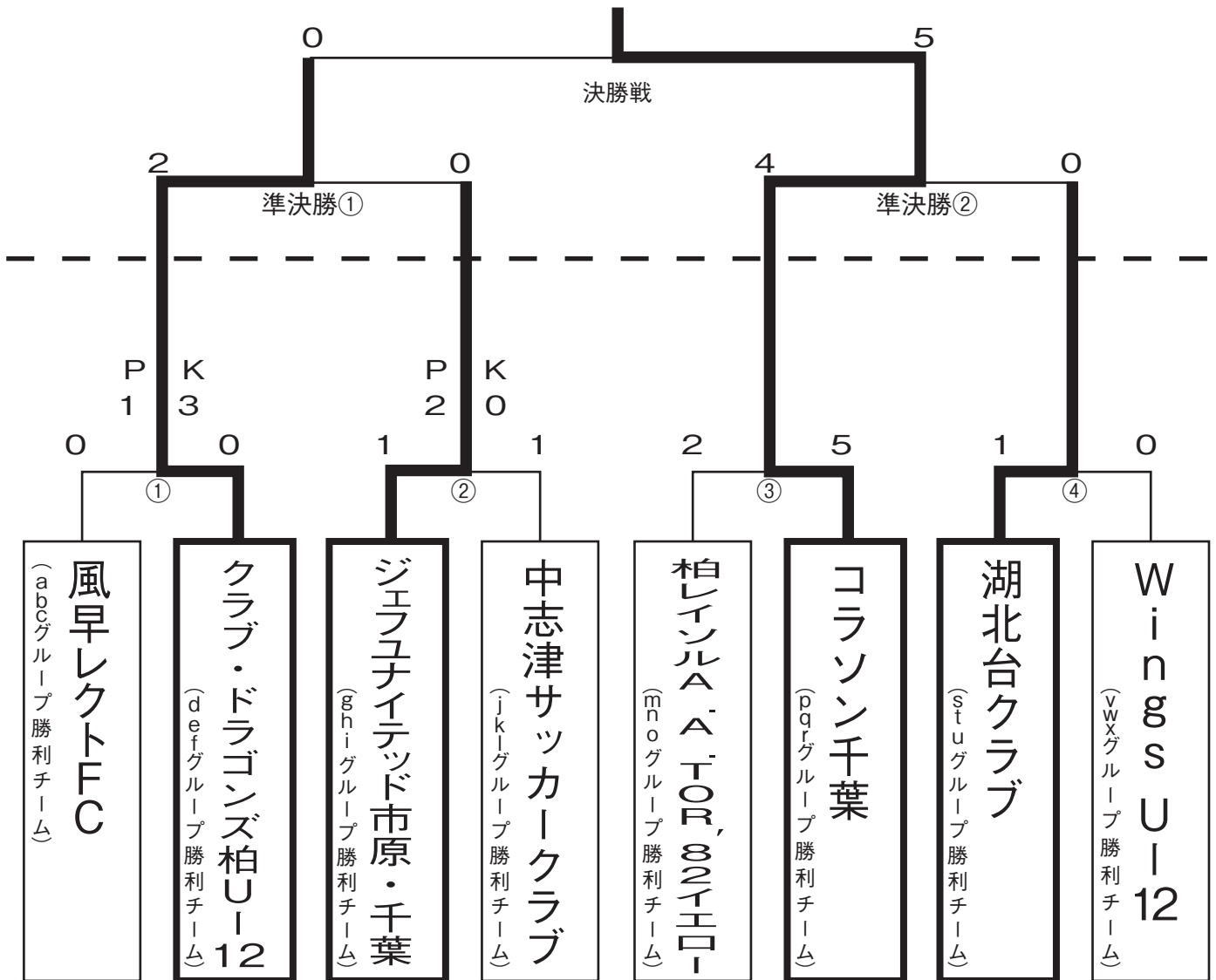
2022年度

第37回千葉県 U-10 サッカー選手権大会

<試合結果>

優勝

コラソン千葉



優勝

コラソン千葉

準優勝

クラブ・ドラゴンズ柏U-12

第3位

ジェフユナイテッド市原・千葉

第3位

湖北台クラブ

公式記録



大会名 2022年度 第37回千葉県U-10サッカー選手権大会 決勝戦													
日時 2022年11月23日		試合形式 40分		会場 プリオベッカフィールド明海		観客数							
主審 小林 哲司 氏		副審1 前田 裕介 氏		副審2 醍醐 浩史 氏		第4審判員 内浜 一也 氏							
天候 / 風 雨 / 無風		気温/湿度 11.5℃ / 90%		ピッチ 人工芝 / 濡		記録担当 小島康夫 / 平沖祥人							

クラブ・ドラゴンズ柏 U-12 KICK OFF 延長 KICK OFF	0	0	前半	2	5	コラソン千葉	KICK OFF 延長 KICK OFF
		0	後半	3			
			延前半				
			延後半				
				P	K		

シュート		得点	選手名	出場	番号	位置	位置	番号	出場	選手名	得点	シュート						
延後	延前											後	前	計	計	前	後	延前
			石川 琢磨	○	1	GK	DF	2	△	野尻 千博								
			高橋 一翔	△	2	FW	DF	3	○	大橋 拓真	1	2	1	1				
			吉川 陽葵	△	3	MF	DF	9	○	小杉 悠真		3	2	1				
			脇山 祐馬	○	4	DF	FW	17	△	豊田 翼		1		1				
			道家 悠	○	5	DF	MF	20	○	原田莉旺斗	1	4	1	3				
			出原 颯空		6	MF	DF	24	△	増原 零								
			黒田 樹生	△	7	MF	FW	28	○	務臺 翔輝	2	5	3	2				
		1	宮下 晴太	○	8	FW	FW	29	△	森山 快人		1		1				
			横山龍之介		9	DF	DF	30	○	山田 蒼一								
			大胡 翔		10	MF	FW	31	○	山本桜太郎	1	7	5	2				
			西脇 佳樹	△	11	MF	MF	34	△	張 是澤								
			奥村琉太郎	○	12	MF	MF	35	△	田中 龍		1		1				
			太幡 裕希	△	13	MF	MF	36	○	池谷 颯太		1		1				
			渡邊虎次郎		14	MF	MF	40	△	大友 蓮月								
			和田朔太郎	○	15	FW	GK	98	○	櫻井 虎真								
			山下 縁太	○	16	MF												
			潮田 聖七	○	17	DF												

警告・退場 / グリーンカード			監督 鳥井 翔太				監督 富澤 翔太				警告・退場 / グリーンカード		
延後	延前	後半	前半	チーム合計		前半	後半	延前	延後				
		1	0	1	シュート	25	12	13					
		8	6	14	GK	3	2	1					
				0	CK	7	2	5					
				0	直接FK	2	2						
		2	1	3	間接FK	2		2					
		2	1	3	(オフサイド)	2		2					
				0	PK	0							

得点経過															
時間	チーム	No.	得点選手	時間	チーム	No.	得点選手	時間	チーム	No.	得点選手	時間	チーム	No.	得点選手
9	コラソン千葉	28	務臺 翔輝												
11	コラソン千葉	31	山本桜太郎												
22	コラソン千葉	3	大橋 拓真												
28	コラソン千葉	28	務臺 翔輝												
38	コラソン千葉	20	原田莉旺斗												
PKの経過															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	

[備考]
 ※出場欄 ○：先発出場 △：交代出場 空欄：試合登録して出場なし
 [警告理由] C1：反スポーツ的行為，C2：ラフプレー，C3：異議，C4：繰り返し違反，C5：遅延行為，C6：距離不足，C7：無許可入，C8：無許可去
 [退場理由] S1：著しく不正なプレー，S2：乱暴な行為，S3：つば吐き，S4：得点機会阻止(ハンド)，S5：得点機会阻止(他)，S6：侮辱的発言，S7：警告2回による退場

2022 年度
第 37 回千葉県 U-10 サッカー選手権大会

決勝戦 12:30 キックオフ
クラブ・ドラゴンズ柏 U-12 vs コラソン千葉
0 対 5

(於：浦安市 ブリオベッカフィールド明海 (明海球技場))

本大会の決勝戦は、雨の降る中、緑色のシャツのクラブ・ドラゴンズ柏 U-12 と、白色のシャツのコラソン千葉の対戦となった。

準決勝においてジェフユナイテッド市原・千葉に勝利したドラゴンズ柏の攻撃力が光るのか、それとも前線からのプレスでマイボールにする力を有するコラソン千葉がチャンスを生かすのか…が見どころの試合となると予想された。

結果的に得点が多かったので、コラソン千葉の得点の場面やドラゴンズ柏のシュートの場面を記載する。

9 分：コラソン千葉の 1 点目

右サイドにいるドラゴンズ柏 17 番潮田君が、前線の 15 番和田君にパスを送るがお互いの意思がずれてしまい、コラソン千葉の 3 番大橋君がダイレクトではじき返す。そのボールにドラゴンズ柏の 5 番道家君が頭で何とか触るが、コラソン千葉の 28 番務臺君の前、ドラゴンズ柏の守るゴール前のペナルティマーク付近を転がっていく。務臺君がすぐにそのボールに追いつき、相手 G K 石川君が間合いを詰めて出て来たが、G K に当たらないように少し浮かしたボールを蹴ってシュートし、先制ゴールが決まる。

11 分：コラソン千葉の 2 点目

コラソン千葉の 1 点目の直後のキックオフから、ドラゴンズ柏は果敢に攻めるが、前線へ送ったボールはゴールラインを割る。そのゴールキックを、G K の代わりに、コラソン千葉 3 番大橋君がゴールキックを蹴る。そのボールがハーフウェイラインまで飛び、それをコラソン千葉 28 番務臺君が右足を出して前にいる 31 番山本君につなぐ。山本君はそのままドリブルで相手ゴールまで運び、ペナルティアーク付近からシュートを放つ。ボールは G K の手の届かないゴールの左隅に入り、2 点目が決まる。

22 分：コラソン千葉の 3 点目

後半始まってすぐにコラソン千葉の攻勢が続く。後半 2 本目の左コーナーからのコーナーキックはドラゴンズ柏の選手がヘッドでクリアするが、そのクリアボールがペナルティアークに飛び、コラソン千葉の 36 番池谷君が足を出しコラソン千葉 20 番原田君につなぐ。原田君は、相手に体を寄せられるものの、すぐにそのボールをヒールでコラソン千葉 3 番大橋君の前にあるスペースに転がす。大橋君は、ペナルティアークの少し外側から低い弾道のミドルシュートを放ち、ゴールの右隅に決める。

28分：コラソン千葉の4点目

ドラゴンズ柏がコラソン千葉の陣地の右サイド付近まで押し込んでいたが、コラソン千葉が得たスローインがコラソン千葉 20 番原田君にボールが渡り、原田君はそのまま自陣からドリブルを開始する。原田君はハーフウェーラインを通過してドリブルで運びながら、相手ゴールのペナルティアーク手前からミドルシュートを放つ。ドラゴンズ柏のG Kは両手でそのシュートを弾いて阻止したが、弾かれたボールに真っ先に詰めてシュートを決めたのはコラソン千葉 28 番務臺君。

36分：ドラゴンズ柏のシュート

コラソン千葉 3 番大橋君が、自陣の右サイド寄りのペナルティエリアの5 mほど前からフリーキックを蹴り前線に送るも、ドラゴンズ柏 7 番黒田君にヘッドで戻される。ドラゴンズ柏は、そのボールをつなぐが、コラソン千葉の大橋君に回収されて、大橋君はコラソン千葉のG Kの櫻井君にバックパスをする。櫻井君は、バックパスのボールを目の前のペナルティアーク付近にいる味方にパスしたが、それを再びドラゴンズ柏の黒田君に体を寄せられてボールを奪われる。ドラゴンズ柏はそのボールを中央にいるドラゴンズ柏 8 番宮下君に送り、宮下君はダイレクトでシュートを放つものの、惜しくもG K原田君の正面でボールをキャッチされた。

38分：コラソン千葉の5点目

後半の終盤に、ドラゴンズの攻勢がいくつか続いたが、コラソン千葉の左サイドのハーフウェーラインよりも5 mほど前付近からコラソン千葉 40 番大友君がスローインをして再開。スローインされたボールを左サイドで受けたコラソン千葉 17 番豊田君が上手いターンで後ろに迫っていた相手をかかわしターンして前を向いてドリブルする。コラソン千葉の豊田君は、自分よりも中央寄りにいる味方の 35 番田中君にパスを送るが、そのパスはドラゴンズ柏 17 番潮田君にスライディングで足を伸ばされて通らなかった。

しかし、力なく転がったボールはコラソン千葉 34 番張君が拾い、相手の寄せをかかわして、ペナルティアークの右寄りにいたコラソン千葉 20 番原田君にパスを送った。この時は、コラソン千葉が左サイドを中心にプレーしていたこともあり、原田君の周辺はフリーになっていて、原田君は張君からのそのパスをダイレクトでシュートを放つ。シュートはドラゴンズ柏のG K石川君の右手をかすめてそのままゴールに入った。

【 総括 】

試合が終わってみると、シュート数で言えば、コラソン千葉のシュートが 25 本、ドラゴンズ柏のシュートが 1 本。

決勝戦なので、当然のことではあるが、お互いに技術的なレベルが高かった。

そんな中でもコラソン千葉はチーム全体として前線からの守備を惜しみなく繰り返し、奪ったボールをドリブルやパスを効果的に織り交ぜて相手ゴール前に持ち込みシュートにつなげていた。

ドラゴンズ柏は、前線の 8 番宮下君や 15 番和田君にパスをつなげたいと考えているのだが、コラソン千葉の中盤より上での圧力が強いいため、いつの間にか自陣のペナルティエリアの方に押し込まれてしまった。

構図的に言えば、ドラゴンズ柏の守るペナルティエリアの前辺りで、コラソン千葉の 5 人が攻勢に出てくるのをドラゴンズ柏の 6 人が防戦に回っている感じだった。

時折ドラゴンズ柏がコラソン千葉のボールを奪って前へ供給するのだが、コラソン千葉のプレスが早い
ため、蹴るコースが限定されてしまい、ドラゴンズ柏の前線につながる前に、コラソン千葉の DF がボールを
カットすることになっていた。

あと、個人的に印象として残っているのは、コラソン千葉の 3 番大橋君の中距離・長距離の正確なキッ
クカが、（準々決勝の時からしか私は観ていないが）コラソン千葉の効果的な一つの攻撃の武器となっ
ていたように思う。

（一社）浦安市サッカー協会第四種委員会 技術部 沼野建児